

## 文字と発音 pronunciación

### 1. アルファベット

(1) スペイン語のアルファベットは次の 30 文字である。たとえば、空港のゲート名やバスの路線名などで頻繁に使われるので、それぞれの文字の発音を単語として覚えておくべきである。英語式に発音すると理解されない。また、スペイン人にとって日本人の名前は聞きづらいので、自分の名前をアルファベットで言えるようにしたい。

A	a	a	J	j	jota	R	r	ere
B	b	be	K	k	ka		rr	erre
C	c	ce	L	l	ele	S	s	ese
Ch	ch	che	Ll	ll	elle	T	t	te
D	d	de	M	m	eme	U	u	u
E	e	e	N	n	ene	V	v	uve
F	f	efe	Ñ	ñ	eñe	W	w	uve doble
G	g	ge	O	o	o	X	x	equis
H	h	hache	P	p	pe	Y	y	i griega
I	i	i	Q	q	cu	Z	z	zeta

(2) 英語にない文字は Ch (ch)と Ll (ll)と Ñ (ñ)である。Ch (ch)と Ll (ll)は、2つの文字であるが 1 つの子音を示す(「二重字」とよぶ)<sup>1</sup>。これら 3 つと rr (こ

---

<sup>1</sup> 1994 年以前に出版された辞書では C, c で始まる単語がすべて終わってから、別の文字として Ch, ch で始まる単語が配列されている。Ll, ll も L, l の後にある。Ñ, ñ はスペイン語に特有の文字だが、これも N の後にある。単語の中にこれらの文字があるときも同様に、それぞれ c, l, n が終わってから、ch, ll, ñ がくる。たとえば tacha という単語は tacaño の後ではなく、facto の後にある。olla は olivo の後ではなく、olvido の後にある。pañal は panzudo の後にある。1994 年にスペインとラテンアメリカのアカデミー協会は ch と ll を英語のような配列とする決定をした。

れも「二重字」と呼ぶ) はそれぞれ 1 子音として扱われることを「7. 音節の切り方」で学ぶ。

(3) ここでは、とくに日本人にとって問題となる発音だけを取り上げて説明する。

G (g)は舌の奥と軟口蓋と呼ばれる口の天井の奥とを近づけて「フー」という。とても摩擦が強い音である。この音は日本語にも英語にもないので、はじめに仕組みを理解しよう。この摩擦音は[k]「ク」という閉鎖音に対応するので、「ク」という音を続けて出しながら、閉鎖を少しゆるめて摩擦の音を出してみよう。「クー」と言いながら、「フー」になるまで「クフー」というように息を続けて強く出そう。これが軟口蓋摩擦音の「フ」だ。G, g の文字は「エ」という母音がつくので「ヘー」となる。

これはとても強い音なので日本人はなかなかうまく発音できない。日本語の「ハ」行の子音はもっとやわらかい氣息音だ。ところが、スペインの南部やラテンアメリカでは、このやわらかい氣息音になるので、そちらのスペイン語を学びたい人は日本語の「ハ」行の音を使うとよい。

(4) とくに L (l)と R (r)の違いに注意しよう。どちらもカタカナで書けば「エレ」になるので日本人には区別が難しい。[l]の発音では舌先を上歯茎にしっかりとつけて、舌の両側から息を出しながら「ルー」という音を出す。一方[r]では、舌先を軽く上歯茎にぶつけて「ル」という。この違いを聞き分けられるようにしよう。これはスペイン語ではとても大事な違いで、区別ができないと綴り方も間違えるので注意しなければならない。

(5) rr は、単語の中に出てきたときには、「ルルル」というように舌先を震わせる音になる。また、r で始まる単語でも同じである。「バラ」は rosa 「ロサ」というが、この「ロ」の発音では舌先が数回震える。

(6) Ll (ll) の発音は微妙で、各地にバリエーションがある。大きく「エリエ」,

「エイェ」、「エジェ」の3種の発音があるが、その中で「エリエ」は伝統的な発音で、現在ではスペインの北部や南米のペルーなどに残っている。舌の前の部分を上の硬口蓋につけて側面から息を通過させる音である。「エイェ」のほうが広い地域で聞かれる音で、これが強く発音されると「エジェ」となる。どちらにしても舌先は下の歯の後ろに置いて、前舌部分を持ち上げるようにして発音する。日本語の「ジャ」は、舌先が上に向かうのでスペイン語の「エジェ」と比べてとても強い音になる。なお、地域によっては「エイェ」よりも「エジェ」のほうが優勢なところもある。

(7) Q (q), U (u), V (v), W (w) にある「ウ」[u] は唇を突き出して丸め、舌を後ろに引いて「ウー」とはっきりと発音する。日本語の「ウ」は曖昧な母音なので、これにならないように注意しよう。

## 2. 母音

a, e, i, o, u という母音が5つある。それぞれの発音の口の形は次のようになる。



【図-1】

i と u は閉母音，そして e, a, o は開母音に分類される。この分類は次の二重母音と三重母音を理解するときに必要な。

閉母音	i	u
開母音	e	o
	a	

### 3 . 二重母音と三重母音

母音が連続すると二重母音または分立母音ができる．二重母音になるのは開母音と閉母音または閉母音と閉母音が前後につながるときである．次の組み合わせがある．それぞれの単語を発音しよう（この課では単語の意味は，とくに気にしないで発音だけに注目しよう）．

- 開母音 + 閉母音：ai-re, hay, pei-ne, ley, boi-na, hoy, au-to.
- 閉母音 + 開母音：A-sia, pia-no, dien-te, pa-tio, Gua-te-ma-la.
- 閉母音 + 閉母音：ciu-dad, viu-da, ruin, muy.

さて，母音は3つ連続することもある．それが次のように組み合わせると三重母音になる．

- 閉母音 + 開母音 + 閉母音：es-tu-diáis, Cuauh-te-moc, Pa-ra-guay.

二重母音も三重母音も音節の途中で切らないで1つの母音として扱う．

### 4 . 母音の分立

開母音が2つ連続すると母音が分立して音節が切れる．

- 開母音 + 開母音：ba-ca-la-o, o-a-sis, eu-ro-pe-o, ta-re-a.

また，開母音と閉母音の組み合わせでも，閉母音に強勢（アクセント）があれば分立する．

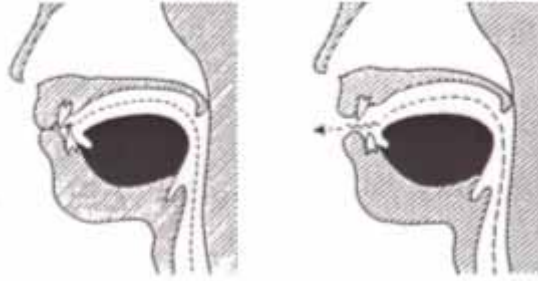
- 開母音 + 強勢閉母音：pa-ís, ba-úl, o-í-do.
- 強勢閉母音 + 開母音：dí-a, tí-o, e-co-no-mí-a, bú-ho.

これらは2つの母音として扱われ，そこで音節が分かれる．

### 5 . 子音

(1) **b** は常に[b]の音になる．これには唇を閉じた閉鎖音[b](図-2)と少しだけ開

いた摩擦音[β](図-3)がある。発音の初めと、語中の m や語末の n の後では日本語の「バ」行の子音と同じ閉鎖音になるが (例: Bolivia ,Colombia ,un banco) , それ以外は摩擦音[β]となる (例: Cuba , las botas) .

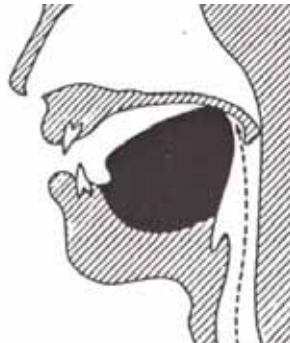


【図-2】 [b]

【図-3】 [β]

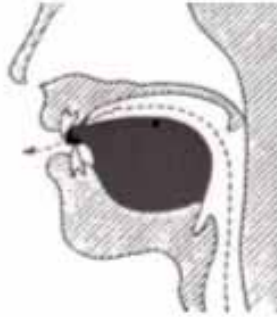
- **b** [b, β] Bolivia, Colombia, Cuba.

(2) c には[k]と[θ]の発音がある。[k]は日本語の「カ」行の子音と同じである(図-4)。[θ]は舌先を上歯と下歯の間に入れて発音する摩擦音であり(図-5)、c の後ろに i または e の綴りがあるときがこの発音になる (例: Francia , Concepción) 。その他はすべて日本語の「カ」行の子音と同じ[k]となる(例: Corea , Cataluña , Ucrania) 。たとえば、lección の最初の c は[k]であり、2 番目の c は[θ]となる ([lekθión]) 。



【図-4】 [k]

なお、スペインの南部とラテンアメリカ諸国では[θ]ではなく、日本語の「サ」行の子音と同じ[s]となる(図-6).



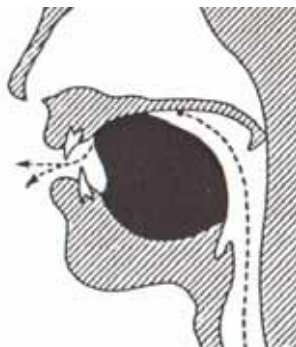
【図-5】 [θ]



【図-6】 [s]

- c [θ(s)] Francia, Concepción.  
[k] Corea, Cataluña, Ucrania.

(3) ch は日本語の「チャ」行の子音と同じである。

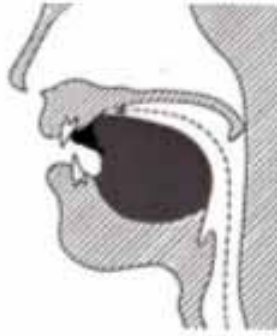


【図-7】 [tʃ]

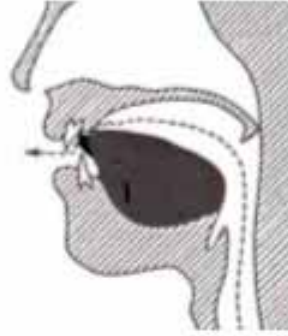
- ch [tʃ] Chile, Campeche.

(4) d には舌先を上歯につける日本語の「ダ」「デ」「ド」の子音と同じ閉鎖音[d](図-8)と、舌先を少し離して発音する摩擦音[ð] (図-9)がある。発音の初

めと l, n の後では閉鎖音となり，それ以外は摩擦音となる．



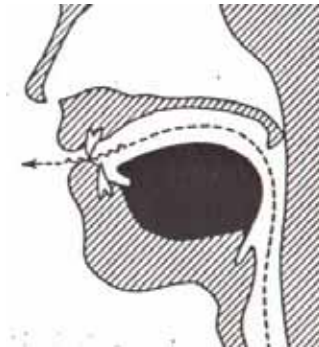
【図-8】 [d]



【図-9】 [ð]

- **d** [d, ð] Dinamarca, India, Madrid.

(5) f は上の歯が下の唇に軽く触れて，そこから息が漏れるようにして発音する摩擦音である．

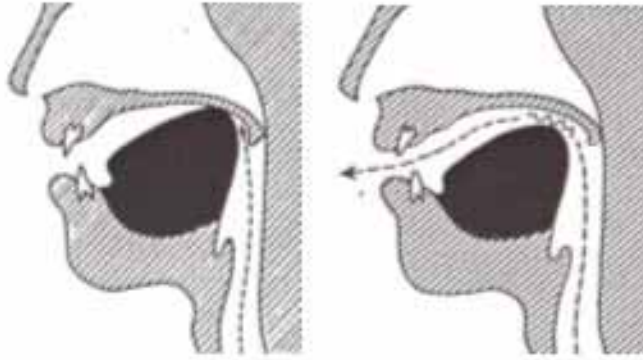


【図-10】 [f]

- **f** [f] Filipinas, California.

(6) g には[g]と[x]という2つのまったく違う音がある．後に e, i の母音があるときの発音は[x]であり，その他の位置で[g]となる．

- **g** [x] Argentina, Bélgica.  
[g, γ] Guatemala, Santiago, Hungría.



【図-11】 [g]

【図-12】 [x], [χ]

[g]は日本語の閉鎖音「ガ」行の子音である。発音の初めと、語中や語末のnの後では閉鎖音[g]となり(図-11),その他は摩擦音[χ]になる(図-12)。この違いをあまり気にする必要はないが、日本語のやわらかい鼻に抜けた「ガ」行の子音[ŋ]ではないから注意しなければならない。

[x]は舌の後ろの部分と軟口蓋を近づけて息を強く出す摩擦音である。[k]の発音を少し緩めて「クフー」というように続けて発音すると、この摩擦音が出る。スペイン南部やラテンアメリカでは日本語の「ハ」行の子音と同じである。

(7) h は常に無音、つまり発音されない。

- h [無音] Honduras, La Habana.

(8) j は常に摩擦音[x]となる。

- j [x] Japón, Jerez.

(9) k は外来語にしか用いられない。常に[k]という閉鎖音になる。

- k [k] Tokio, Kioto, Kenia.

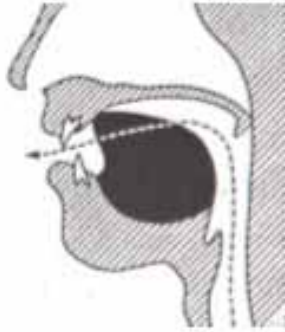
(10) l は舌先を歯茎につけた「ル」という音になる(【図-13】)。詳しくは「1」。



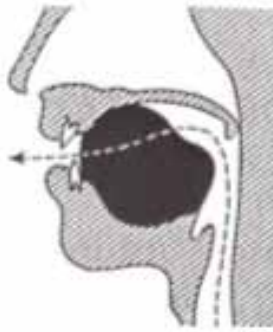
アルファベット」の部分を見ること。

- **l** [l] Alemania, Lima.

(11) **ll** は常に[y]である。詳しくは「1. アルファベット」の部分を見ること。



【図-13】 [l]



【図-14】 [ʎ]

- **ll** [y] Sevilla, Medellín.

伝統的な[ʎ]の音は一部の地域を除いて聞かれない。

(12) **m** は日本語の「マ」行の子音と同じである。

- **m** [m] Montevideo, Panamá.

(13) **n** は日本語の「ナ」行の子音と同じである。

- **n** [n] Nepal, Manila.

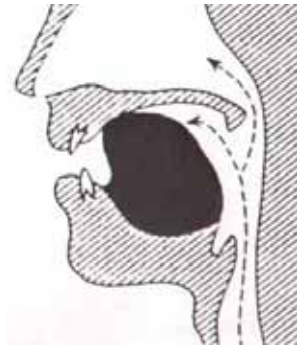


【図-15】 [m]



【図-16】 [ɱ]

(14) ñ は日本語の「ニャ、ニュ、ニョ」の子音と同じである。



【図-17】 [ɲ]

- ñ [ɲ] España, Gran Bretaña.

(15) p は日本語の「パ」行の子音と同じである。

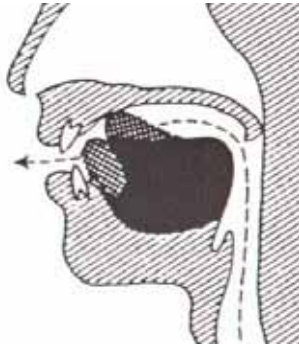
- p [p] País Vasco, La Paz.

(16) qu は次に e または i の母音を従えて、それぞれ、「ケ」 [ke] または「キ」 [ki] という発音になる。

- qu [k] Quito, Mozambique.

que, qui は「ケ」,「キ」という発音であって,「クエ」,「クイ」とは発音しない。

(17) r は語頭では震 (ふる) え音, 語中では弾 (はじ) き音である。詳しくは「1. アルファベット」の部分を見ること。



【図-18】 [r]

- r [r] Roma, Costa Rica.  
[r] Perú, El Salvador.

(18) rr は震 (ふる) え音である。詳しくは「1. アルファベット」の部分を見ること。

- rr [r] Monterrey, Marruecos.

(19) s は日本語の「サ」行の子音と同じである。

- s [s] Suecia, Buenos Aires.

(20) t は日本語の「タ」「テ」「ト」の子音と同じである。

- t [t] Toledo, Italia.

(21) v の発音は b の文字とまったく同じである。伝統的な綴り字が残ったた

めに現代でもこの文字が使われている。英語のように[f]に対応する有声音にならない。

- v [b] Valencia, Bolivia

(22) w は外来語にしか用いられない。「ワ」の音か、それが強められて「バ」行の子音[b]になったりする。まれに、「グァ」のように聞こえることもある。

- w [w] Washington, Kuwait.

(23) x は基本的に[kʰs]と発音されるが、c, t, p という子音の前では[s]と発音されることが多い。また、メキシコの地名などには[x, h]と発音されるものがある (例: México, mexicano)。

- x [kʰs] Luxemburgo, Extremadura.

(24) y は「ヤ」行の子音で、ll と同じ発音になる。ただし、「リャ」行の子音にはならない。また、語末では二重母音の一部の[i]がこの文字で書かれる。

- y [y] Yucatán, Paraguay.

(25) z は常に[θ]の発音である。スペインの南部やラテンアメリカでは日本語の「サ」行の子音と同じ[s]となる。

- z [θ (s)] Venezuela, Suiza.

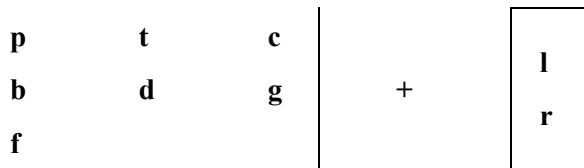
スペイン語の**語末にある子音**には d, l, n, r, s, y, z がある。これらの中で d は非常に弱く発音され、ほとんど聞こえないことがある。例: Madrid。他にも c, g, j などもまれに語末に見られるが、これらの子音も非常に弱く発音される。それらに比べて、l, n, r, s, y, z は比較的安定している。それでもスペインの南部やラテンアメリカの地域によっては弱く発音され、聞こえなくなることがある。

**連続.**La Habana のように語末と語頭で同じ母音が続くと連続して発音される。「ラ・アバーナ」というより「ラバーナ」という感じである。また、Buenos

Aires のように語末の子音 (s) と語頭の母音 (a) が隣合わせになると連続して発音される。「ブエノス・アイレス」というより「ブエノサイレス」と発音される。

## 6 二重子音

子音が連続すると、二重子音となる場合がある。これは p, t, c, b, d, g, f のいずれかと l または r の組み合わせである。(ただし, tl と dl は二重子音にならない。)



- **pl, pr:** tri-ple, com-pra, siem-pre.
- **bl, br:** do-ble, re-pú-bli-ca, li-bro.
- **fl, fr:** in-fluen-cia, Á-fri-ca, su-frir.
- **cl, cr:** an-cla, in-cluir, es-cri-bir.
- **gl, gr:** In-gla-te-rra, si-glo, ne-gro.
- **tr:** cua-tro, pa-tria.
- **dr:** Lon-dres, Ma-drid, pa-dre.

これらの二重子音は1つの子音として扱い、音節の切れ目はその前になる。二重子音の間で切ってはいけない。

## 7 音節の切り方

音節の切り方はアクセントの位置を知るために非常に重要である。音節の切り方を知るためには、語中の子音に注目しなければならない。

(1) 1子音 → 後ろの音節へ。語中に1つの子音があるときは、その前に音節

の切れ目がある。このとき二重字 (ch , ll , rr) や二重子音 (pl , pr , bl , br , fl , fr , cl , cr , gl , gr , tr , dr) は 1 つの子音として扱う。

- ca-sa, ca-lle, a-rroz, li-bro, si-glo.

(2) **2 子音**→ 子音-子音。語中に 2 つの子音があるときは、その間に音節の切れ目ができる。このときも二重字や二重子音は 1 つの子音として扱う。

- pas-ta, an-cho, in-glés.

(3) **3 子音**→ 子音+子音 - 子音。語中に 3 つの子音があるときは、最後の子音の前に音節の切れ目ができる。このときも二重字や二重子音は 1 つの子音として扱う。

- cons-tan-te, subs-tan-cia, ist-mo, mons-truo.

(4) **分立母音**は 2 つの音節に分ける。

- o-a-sis, eu-ro-pe-o, pa-ís, ba-úl.

## 8 . アクセントの位置

アクセントの位置は音節を単位とし、語末の文字で決まる。

(1) **母音、または n, s で終わる語**は後ろから 2 番目の音節にアクセントがある。

- ca-sa, ai-re, Co-re-a, Bo-li-via, jo-ven, te-nis.

(2) **n, s 以外の子音で終わる語**では最後の音節にアクセントがある (語末の y は子音として扱われる)。

- Ma-drid, Bra-sil, E-cua-dor, Je-rez, Pa-ra-guay.

(3) これらに当てはまらない場合は**アクセント符号**をつける。

- Mé-xi-co, Cá-diz, Pa-na-má, Hai-tí, Ja-pón, a-diós.

\* 綴り字上のアクセント符号は必ず書かなければならない。

\* アクセントのある音節が二重母音や三重母音を含むときは、その中の開母音が強く発音される。例: aire, Paraguay.

## 9 . 綴り字の規則

スペイン語の単語の発音は非常に単純で規則的であるが、一部で文字と発音の関係が規則的にずれているところがある。それを次の表で確認しよう。

発音	次の母音					語末
	i	e	a	o	u	
[θ]	ci	ce	za	zo	zu	z
[k]	qui	que	ca	co	cu	c
[x]	gi (ji)	ge (je)	ja	jo	ju	(j)
[g]	gui	gue	ga	go	gu	(g)
[gw]	güi	güe	gua	guo		

たとえば、[θ]という発音には c と z の文字が対応する。c が書かれるのは次に i または e という文字があるときで、それ以外は z で書かれる。語末でも z となる。この規則 ([θ]=c ~ z) を知っておくと、名詞や形容詞の複数形や、動詞の活用形の練習をするときに暗記することが少なくてすむ。同じことが [k]=gu ~ c, [x]=g ~ j, [g]=gu ~ g, [gw]=gü ~ gu についても言える。こうしたケースに出会ったときにもう一度この表を参照しよう。(なお、上の表の括弧の中の文字は、こうした対応は示さないが、同じ発音をする文字である。)

- lápiz, lápices
- empieza, empieza
- llego, llegué

- lengua, lingüística

## 10 . 数詞 (1) 1 から 20 まで

- 1 uno
- 2 dos
- 3 tres
- 4 cuatro
- 5 cinco
- 6 seis
- 7 siete
- 8 ocho
- 9 nueve
- 10 diez
- 11 once
- 12 doce
- 13 trece
- 14 catorce
- 15 quince
- 16 dieciséis
- 17 diecisiete
- 18 dieciocho
- 19 diecinueve
- 20 veinte

\* **uno** は名詞の前に置かれると短縮して **un** となる .

\* 16~19 はそれぞれ , diez y seis, diez y siete, diez y ocho, diez y nueve が合成してできた形である。dieciséis にはアクセント符号が必要である。アクセント符号をつけないと , s で終わる語なので ci の音節が強くなってしまふからである。



## 練習

5

【語句】 **Buenos días** おはようございます . こんにちは(午前の挨拶 ; 昼食まで) **Buenas tardes** こんにちは(午後の挨拶 ; 昼食後日没まで). **Buenas noches** こんばんは , おやすみなさい(夜の挨拶). ¿**Cómo está usted?** お元気ですか **Muy bien, gracias.** 元気です , ありがとう **Muchas gracias.** どうもありがとう **De nada.** どういたしまして ; **Hola!** やあ ¿**Qué tal?** 元気? ; **Adiós!** さようなら ; **Hasta mañana!** また明日 .